

西穂独標 (2701m)



：(ハイライトシーン)

※弥生班 計7名

[※ 実施日—2025年7月22日(火)～23日(水)]

① (西穂高口駅展望台)



② (頂の森)



④ (西穂山荘をバックに)



③ (西穂山荘 ・ らいちよう班と遭遇)



⑤ (西穂丸山)



⑦ (西穂独標)



⑥ (独標直下の鎖場)



西穂独標 (2701m)

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) --- 2025 年 7 月 22 日 ~ 23 日

※(行 程) [予定]

(メンバー) ----- 計 7 名

木村、岡本、中濱、八木、新延、河原、有本、

※[はじめに]

(独標)

○独標は「独立標高点」の略で、地図を作るために測量した場所を表す。それに対して、連続した標高点は「等高線」といいます。「等高線」は線ですが、「独標」は点で表します。

(写真 1)

(登山届)



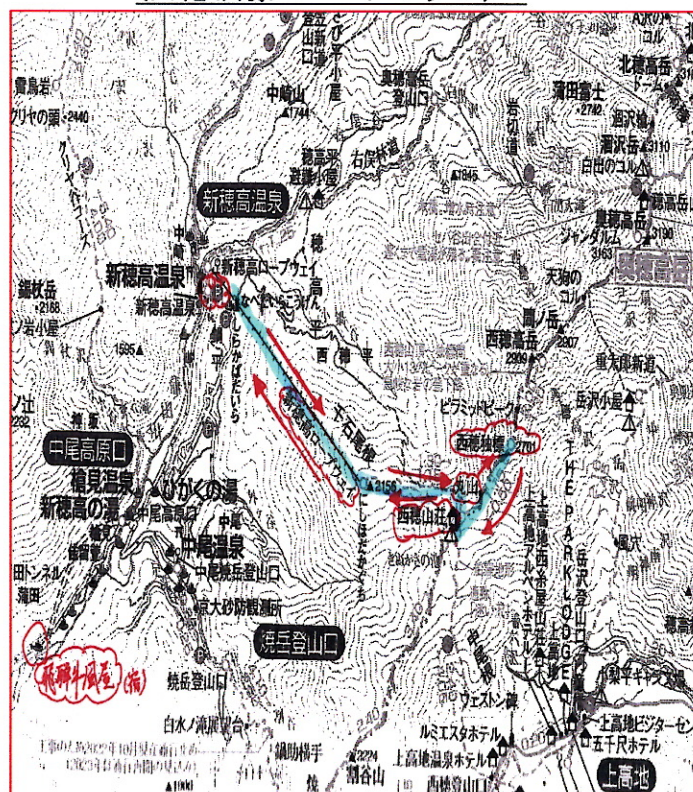
- ・和歌山(北コミ)1時出発し、新穂高駐車場に7時30分到着。登山届を提出する。新穂高ロープウェイを8時30分に乗る。

(写真 2) (西穂口駅の展望台--その 1)



- ・ロープウェイを乗り継ぎ、西穂口駅9時到着。展望台から笠ヶ岳をバックに!!

(西穂独標 ロードマップ)



(写真 3) (西穂口駅の展望台--その 2)



- ・穂高岳、槍ヶ岳方面をバックに全員集合。
天気は上々で周囲の展望は抜群!!
ここからは、体力に応じ 2 班に別れて行動。

(写真 6) (西穂山荘をバックに)



- ・11 時 15 分、西穂山荘を出発。
バックは焼岳であるが、ガスでぼんやり。

(写真 4) (頂の森)



- ・10 分程度歩くと頂の森に到着。
穂高方面の展望が開ける。

(写真 7) (西穂丸山--その 1)



- ・11 時 30 分、丸山を通過。
徐々にガスがかかり周囲は白くなる。

(写真 5) (西穂山荘)



- ・西穂山荘に 11 時到着。
らいちょう班の 4 名と出会う。

(写真 8) (西穂丸山--その 2)



- ・丸山から見た西穂方面。ここはまだガスなし。
独標を手のひらで持ち上げている?

(写真 9)

(西穂丸山--その 3)



- ・展望が素晴らしい。

(写真 12)

(西穂独標--その 2)



- ・北側の穂高岳方面は、展望よし。

(写真 10)

(独標直下の鎖場)



- ・独標への最後の難所。
スリル満点、展望よし。

(写真 13)

(下 山)



- ・13 時 30 分、下山開始。
14 時 40 分、西穂山荘を通過。

(写真 11)

(西穂独標--その 1)



- ・12 時 30 分、2 名到着。
13 時 15 分、残りの 2 名到着し、
4 名で記念写真。
西側の笠ヶ岳方面は、ガスで周りは真っ白。

(写真 14)

(展望台)



- ・16 時、ロープウェイ西穂高口駅に到着。
16 時 45 分、ロープウェイを乗り継いで下山。
宿舎の飛騨牛風屋に車で移動。

(写真 15) (宿舎の飛騨牛風屋--その 1)



- ・ 17 時、宿舎に到着。
- 18 時、入浴後、豪華な夕食で登頂の余韻を楽しむ。

(写真 16) (宿舎の飛騨牛風屋--その 2)



- ・ 8 時 30 分、出発。

(写真 17) (高山市の宮川朝市)



- ・ 朝市での買い物と観光を楽しむ。

(写真 18) (朝市で昼食)



- ・ 飛騨牛握り寿司で満腹。
- 12 時、昼食後、飛騨高山を出発。
- 22 時 30 分、和歌山(北コミ)に帰着。

※(最後に)

○早朝出発で長距離運転であるが、2名のドライバーで適度に交代運転し安全に現地への往復ができた。

ただし、帰路の高速道路でパンクとなった。JAF を呼びけん引して門真のガソリンスタンドでタイヤ交換。

高速道路では、渋滞で 30k 程度の低速状態でのパンクであったため、直ぐに路肩へ止めることができた事故には至らなかった。

出発前に車の点検の重要性を再確認しました。

○新穂高ロープウェイを 8 時出発の計画であったが、8 時 30 分の始発であり 1 時間程度のロスとなった。

○体力に応じ 2 班に別れ、1 班 4 名は独標へ、2 班 3 名は西穂山荘を目標として出発。

○天気予報では、11 時頃から雨予報であったが、結果的には下山まで雨は降らなかった。ただし、霧(ガス)が流れ、晴れたり曇ったりで、視界も変化した。

○独標の直下では、ガレ場や岩登りがありハードな登りで、1 班の 4 名は再度 2 名づつに別れたが、最終的に 4 名とも独標にたどり着き、弥生班メンバーとしては若干厳しい山行であったが、時間をかけた登山で達成感、満足感のある山行ができました。